

大飯発電所敷地内破砕帯調査に関する申し入れ

大飯発電所敷地内の破砕帯の存在については、以前から指摘されてきたところであるが、本年 9 月に原子力規制委員会が発足したのち、有識者会合が設置され、現地調査を実施するとともに、二回にわたる評価会合が開催された。

しかしながら、断層に関する有識者の見解が分かれる事態に陥り、明確な見解が示されないまま、関西電力の追加調査の進捗状況に応じて有識者による現地調査を行い、重要な情報が得られた段階で、再度評価会合を開催することとされている。

このような状況を踏まえ、関西広域連合は下記のとおり申し入れる。

記

活断層は原子力発電所の立地そのものに影響を与える重大な事項であり、原子力規制委員会においては、大飯発電所が現に稼働していることを踏まえ、活断層の調査を主導的かつ迅速に実施するとともに、明確な見解を早期に示すこと。

平成 24 年 11 月 22 日

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
委員	大阪府知事	松井一郎
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門
委員	京都市長	門川大作
委員	大阪市長	橋下徹
委員	堺市長	竹山修身
委員	神戸市長	矢田立郎